

東京労働局との労働問題懇談会 労働を取り巻く課題解決に向け、一層の連携強化を確認する

連合東京は、12月10日(木)、東京労働局との労働問題懇談会を開催しました。連合東京と東京労働局は、労働を取り巻く課題認識と取り組みを共有し、解決に向け連携を強化するため、6月と12月に懇談会を開催しています。今年はコロナ禍で6月の懇談会は開催できませんでしたが、消毒や検温、換気、アクリル板の設置など感染症対策を取りながら対面で行いました。

冒頭、東京労働局の土田局長から「生活と雇用を守るため、全力をあげて取り組んでいる。コロナ禍で例年と同じ取り組みができない中、工夫して取り組みを進めている。今後も連携して労働行政を進めていきたいと考えている」と挨拶がありました。それを受け、連合東京の杉浦会長はこの間の取り組みに感謝するとともに、テレワーク勤務、就職氷河期世代支援、押印廃止問題、雇用調整助成金の延長等について協力要請しました。

代表挨拶の後、東京労働局から令和2年度の取り組みについて、新型コロナウイルス感染症禍への取り組みおよび重点施策の説明がありました。連合東京からは、運動方針補強に基づく2021年度の取り組み、政策制度の内容、労働相談の状況、連合2021春季生活闘争方針などについて説明しました。

最後に意見交換を行い、お互いの取り組みについて理解を深め、働く者の雇用と生活を守るため一層連携強化していくことを確認しました。